

[資料]

「マンダラ塗り絵」に関する心理臨床学的研究（2）

A psychological study on "Coloring Mandala" (2)

黒木 賢一

KUROKI, Kenichi

『大阪経大論集』 第66巻第1号 抜刷

Osaka Keidai Ronshū Vol. 66, No. 1 May 2015

2015年5月 大阪経大学会発行

Edited by Osaka University of Economics Institute

[資料]

「マンダラ塗り絵」に関する心理臨床学的研究（2）

黒木 賢一

I はじめに

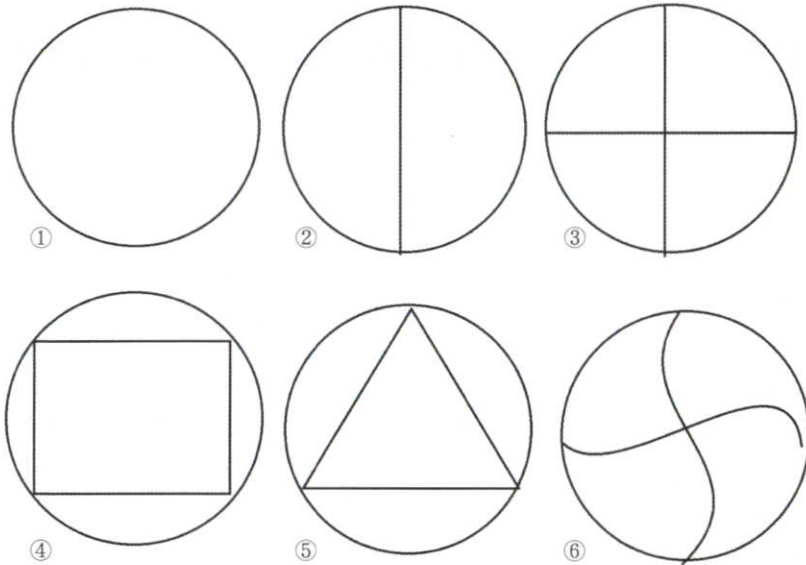
「マンダラ塗り絵」に関する心理臨床的研究（1）は2013年に『大阪経大論集』に研究ノートとして発表した。その内容は9枚の半構造化図形を用いて行った研究である。9枚の半構造化図形とは、図形①の円のみ、図形②の2分割、図形③の4分割、図形④の8分割、図形⑤の12分割の図において、数字のシンボリズムと関係していることが分かった。また円の中に線が一本ずつ付け加えられることにより、空間分割が起こり新たな刺激を与える。この過程は人体の細胞分裂を想起させ、新たなイメージを喚起させる。また、図形⑥は円と四角形、図形⑦は円と対角線上に線をいれた四角形、図形⑧は動きのある円図形、図形⑨は円の中に4つの円を描いた図形である。これらの図形に関しても、シンボリズムと深く関わっていることがこの研究の結果で明らかにになった。その内容は、①図形のシンボルによるイメージが喚起させられること、②気分・感情表出によって自己洞察がおこること、③過去の記憶が出てくることであった。

本稿では、基本的な半構造化図形を図1の6図形にしほり、対象者のイメージの流れを読みとることで、自己理解がどのようにされているのかを解明することが目的である。20名の対象者のうち、4名のマンダラアートを通して検証をおこなう。

II 方法

- (1) 対象者：大学生2・3回生20名（男性7名 女性13名）で実施。
- (2) 実施の場所と条件：週1回の「芸術療法実習」の授業内で5週にわたって実施。場所は学内の教室。季節は7月。
- (3) 実施の流れ
 - 1) 彩色
 - ①図形と絵具の配布：全員に「マンダラ塗り絵」の図1の6種類の用紙（A4用紙に印刷）を順次配布し、24色の色鉛筆と24色のクーピーを1人1セットずつ配布。
 - ②彩色についての条件と時間：「このマンダラに自由に色を塗ってください。線や形を付け加えても構いません。しかし、この円からはみ出さないようにしてください」という指示をし、所要時間は、彩色と振り返り用紙への自由記述と簡単な質問を毎回1時間半のプログラムで個人差を考慮しながら行った。

(図1) 6種類の図形



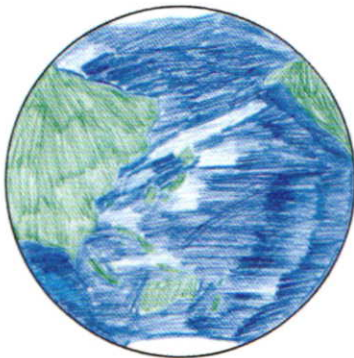
2) 振り返り用紙の配布

「マンダラ描画」実施後に自由記述の振り返り用紙を配布。その際、「描いたものを見て、気づいたり、感じたこと、また自分の「過去と未来」と関連についても記述してください」と教示。描き終えるには、個人差があるがゆえ、一枚描き終えると図1の番号順に用紙を手渡した。

Ⅲ 結 果

対象者20名の作品のうち、4名(女性3名、男性1名)の作品とそれに関するコメントは以下の内容である。コメントの記述に関しては、本人の情感を残すようにし、理解しにくい点のみを筆者が手を加えた。また「ですます調」も本人の文体に合わせた。

事例：A(女性)



絵1

丸(図①)を見た瞬間に地球が浮かびました。日本から描き始めたのでやはり日本人だと思います。その次にアジアを描いて、オーストラリア、ニュージーランド、最後にアメリカを描きました。日本に関係がある国、私が実際に行った国、関係が無い国の順に描きました。色を塗っているときに感じたことは、宇宙から見た地球の美しさを考えていました。あとは、雲の感じが上手く塗れなくて困りました。



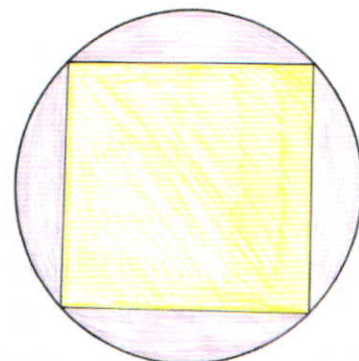
絵 2

真ん中に線があることで、二面性が浮かんできました。1番に出てきたのが、天国と地獄だったのですが、絵に出来ないという結論に至り、昼の顔と夜の顔の二面性を描きました。昼はにぎやかで、夜は静かと言うイメージでした。



絵 3

これまでの絵が地球、朝と夜だったので、似ているような感じの四季が思いつきました。春はお花見、夏は海、花火にスイカにかき氷、秋はお月見、冬は雪遊びやクリスマスを思いつきました。



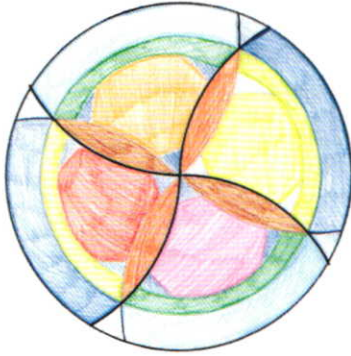
絵 4

図形を見せられたときに、朝顔を思いつきました。形から連想したけれど、まだ自分は寝起きだと言うこともあり、眠くて朝に開く花を連想したのだと思います。また、色は朝顔に見えたのでそれらしく塗りました。



絵 5

注意マーク？警告マーク？とりあえず危険を知らせるマークを描きました。昨日、戦争によって苦しめられた人の話をTVで見たので、きっとそれが、影響したのだと思いました。



絵 6

適当にコンパスを使ってみたら、チョウチョのように見えたので、そのままチョウチョを描きました。でも、正確に測ることなしに少しずつ動かして全体が少しずつ違う形にしました。また色も違うようにしました。昨日のTVでのSMAPの「世界に一つだけの花」を思い出したからだと思います。みんなが違って、みんな良いということがテーマだと思います。

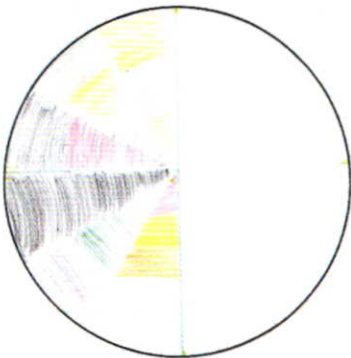
(①から⑥のまとめ)

地球、昼夜、四季、花、生き物と大地に関連があり、どこかしっかりと統一性があるように思います。1つだけ自然との関係が無いように思える⑤の警告マークは戦争を意味していて、自然や生き物なんかが死ぬと言うことにつながるの、やはりどこか関連があるのかなと思います。

(過去と未来)

朝顔やチョウチョは自分で昔育てたことがあるので、過去に関連していると思います。①②③は過去も未来もないようなものだと思います。警告マークは過去の戦争を表すと同時に、最近安部総理が防衛の条例を決めたり、戦争に発展しそうな感じが、それを無意識に警告マークにしていたのかもしれない。

事例：B（女性）



絵 7

5分ほど黙って、何を描こうと長い時間考えて、今の作品を作った。丸を半分に分けて、左側は六つの部分があり、右側の部分は真白である。なぜなら、人生は時計のように、6時から子どもの時代、次は小中学校、高校、大学、仕事、今は日本に留学中を表している。過去から今まで様々なことが私の人生にあった。しかし、未来のことは全く分からないから、半分は白くなった。また、特に言えば、小学校が一番幸せな時代だったので、色は濃くて暖かい感じで表した。中学校は暗くなって、高校は色々なことがあり、あまりよくなかったので、真黒にした。就職した時に、最初は熱心に働き、困ることがあったので、青色で塗り、新しいことは緑色にした。最後、仕事を辞める時には赤い色で深い感情を表している。現在は日本に留学しており、色と同じように、様々な気持ちや体験を表している。